

経営学演習Ⅱ

必修 2単位

前川 正

1. 授業の概要(ねらい)

COSO理事会が2004年に出版した「全社のリスクマネジメント～統合的フレームワーク」は、組織がリスクを管理する取り組みを行う場合に広く採用されてきましたが、同時にこの10年間でリスクの複雑さは変化し新しいリスクが生じています。2004年版の改訂は全社のリスクマネジメントの進化と、進化しつつある事業環境の要請に則して組織がリスクを管理するためのアプローチを改善する必要性に対処するために行われ、改訂版の書名は「全社のリスクマネジメント～戦略およびパフォーマンスとの統合(2017年)」として出版され戦略策定プロセスにおいても、パフォーマンス促進においてもリスクを検討することの重要性を強調しています。リスクとは選択の芸術(アート)であり科学(サイエンス)である、とされています。組織の規模、形態、業種や活動場所を問わず、さまざまな組織にさまざまな方式で適用可能な世界標準の「全社のリスクマネジメント～戦略およびパフォーマンスとの統合(2017年)」を経営学演習Ⅱを通して学習していくことが授業の狙いとなります。

2. 授業の到達目標

- ①全社のリスクマネジメントの最新かつ進化しつつある概念及び適用に関して大局的な視点を修得することができます。
- ②「全社のリスクマネジメント～統合的フレームワーク(2004年)」から「全社のリスクマネジメント～戦略及びパフォーマンスとの統合(2017年)」への進化・発展を理解できるようになります。

3. 成績評価の方法および基準

- ①課題レポート(70%)と課題に対するプレゼンテーション(30%)の実施を通して総合的に判断します。課題(テーマ)については授業中に提示します。
- ②課題レポートとは別に、複数回行うレポートの取組状況を勘案します。
- ③毎回講義のあとに復習を兼ねた確認チェックをLMSの課題提出機能を使って提出してもらいます。

4. 教科書・参考文献

参考文献

一般社団法人日本内部監査協会[監訳] 『COSO全社のリスクマネジメント～戦略およびパフォーマンスとの統合～ 同文館出版
リスクマネジメント規格活用検討会[編著] 『ISO31000:2018』リスクマネジメント解説と適用ガイド 日本規格協会

5. 準備学修の内容

事前事後学修に必要な時間は大学設置基準に則して算出すると15回の授業回数に対して60時間となります。その事前事後学修の主要な課題として次の点を指示します。

- ①講義で使用した資料は講義の翌日にはLMSにアップするので、復習を兼ねて資料を熟読して下さい。
- ②当日の講義内容の理解を深める上で確認チェックをLMSの課題提出機能を使用して次回講義迄に提出して下さい。
- ③個別のテーマに基づきレポートの作成を複数回行います。その準備をして下さい。
- ④課題レポートと課題に対するプレゼンテーション実施の準備をして下さい。
- ⑤講義内容に関連する参考文献・資料は授業の中で紹介します。その自主学習に取組んで下さい。

6. その他履修上の注意事項

- ①欠席及び公欠の扱いについては原則大学の規定にフォローして下さい。
- ②他の受講生の迷惑にならないように最低限の授業におけるマナーは厳守して下さい。(特に私語は慎んで下さい)
- ③受講生に対してとくに対応が必要な場合(病気・ケガ・障害)は遠慮なく申し出て下さい。
- ④授業をよりよくしていく上での建設的な意見・感想・コメントも遠慮なく連絡下さい。
- ⑤リスクと保険特講Ⅱを履修していること、あるいは同時に履修することを推奨します。

7. 授業内容

- | | | |
|--------|--|-----------------------------------|
| 【第1回】 | オリエンテーション | 授業の進め方・成績評価の方法および基準・準備学修の内容等の概要説明 |
| 【第2回】 | パフォーマンス | 10 リスクを識別する |
| 【第3回】 | パフォーマンス | 11 リスクの重大度を評価する |
| 【第4回】 | パフォーマンス | 12 リスクの優先順位づけをする |
| 【第5回】 | パフォーマンス | 13 リスク対応を実施する |
| 【第6回】 | パフォーマンス | 14 ポートフォリオの視点を策定する |
| 【第7回】 | レビューと修正 | 15 重大な変化を評価する |
| 【第8回】 | レビューと修正 | 16 リスクとパフォーマンスをレビューする |
| 【第9回】 | レビューと修正 | 17 全社のリスクマネジメントの改善を追求する |
| 【第10回】 | 情報、伝達および報告 | 18 情報とテクノロジーを有効活用する |
| 【第11回】 | 情報、伝達および報告 | 19 リスク情報を伝達する |
| 【第12回】 | 情報、伝達および報告 | 20 リスク、カルチャーおよびパフォーマンスについて報告する |
| 【第13回】 | 『COSO全社のリスクマネジメント～戦略およびパフォーマンスとの統合～』および『ISO31000 2018年改訂版』との比較 | |
| 【第14回】 | 課題レポートの提出および課題に対するプレゼンテーションの実施 | |
| 【第15回】 | オンライン授業:LMSにコンテンツを掲載するオンデマンド形式で実施 | |